



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 丸運

コード番号 9067 URL <http://www.maruwn.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 市原 豊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 住吉 彰

TEL 03-6861-3411

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	36,171	△1.1	46	△93.0	78	△89.1	△138	—
24年3月期第3四半期	36,568	△1.1	663	△35.7	719	△31.3	535	△10.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △164百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 618百万円 (△10.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△4.78	—
24年3月期第3四半期	18.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	41,053	18,782	45.3	643.18
24年3月期	41,071	19,149	46.1	655.52

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 18,583百万円 24年3月期 18,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,700	△1.2	40	△95.6	100	△89.5	△100	—	△3.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	28,965,449 株	24年3月期	28,965,449 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	71,817 株	24年3月期	71,542 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	28,893,830 株	24年3月期3Q	28,894,621 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、本日(平成25年1月30日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要により支えられ、緩やかな回復を続けてきましたが、海外経済の減速を背景とした輸出の減少等の要因により後退局面に入っており、さらに先行き不透明な状況となっております。

陸運業界においては、国内貨物輸送量が期前半において前年の反動や生産の回復から若干上回ったものの、後半に入ると景気の減退や生産拠点の海外シフトの進行により失速してきており、慢性化している同業者間競争や荷主による運賃値下げ圧力等、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況下にあつて、当社グループは、お客様の変化に対応し信頼を獲得するために、輸送品質の向上に取り組み、全国ネットワークと多様な輸送手段を持つ総合物流企業集団として引き続き積極的に新規顧客の開拓に取り組むことで、業績確保に努めてまいりました。また、成長戦略として取り組んでいる食品物流事業及び中国における実運送・倉庫事業について、軌道に乗せることに注力しました。

これらの結果、貨物輸送部門の増収はあったものの、液体輸送部門の減収により、営業収益は、前年同期に比べ1.1%減の361億71百万円となりました。経常利益は、自車稼働率の向上や固定費の削減に努めましたが、新規事業として成長を期待している食品物流事業の立ち上げ時の損失が当初の計画を大幅に上回っていることや液体輸送部門の減収が大きく響いたこと等により、前年同期に比べ89.1%減の78百万円となりました。また、上記要因に加え固定資産除売却損の発生等により当期純損失は、1億38百万円となりました。

セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

貨物輸送

当部門の主力である一般貨物輸送においては、生産関連貨物が前年における大幅減の反動から持ち直しが一部に見られたものの、景気減速・生産活動の弱まりなどから貨物取扱量は減少となりましたが、昨年下半年から主要顧客の潤滑油製品輸送の元請化や食品物流事業を開始したこと等により取扱量は増加しました。

一方、鉄道利用運送は輸送障害の影響等から取扱量が回復せず減少しました。

この結果、営業収益は前年同期に比べ2.7%の増収となりました。

液体輸送

当部門においては、化成品及び石油製品の需要期に入りましたが、輸送量は燃料転換による内需減退の影響により減少しました。

この結果、営業収益は前年同期に比べ8.0%の減収となりました。

国際物流

当部門においては、長引く円安の影響により輸出関連企業の業績不振と顧客の海外移転、また、日中間の関係悪化など国際物流事業を取巻く環境の変化により厳しい状況となりましたが、海外において、新規倉庫事業が安定したこと、国内においては、輸入貨物の取り扱い及び新規荷主の開発を積極的に行ったことにより、取扱数量が増加しました。

この結果、営業収益は前年同期に比べ0.5%の増収となりました。

当四半期のセグメント別の営業収益は次のとおりです。

セグメント	営業収益(百万円)	前年同期比(%)
貨物輸送	20,999	102.7
液体輸送	11,247	92.0
国際物流	3,765	100.5
その他	158	107.2
合計	36,171	98.9

- (注) 1. その他の事業はビル賃貸、保険代理店等であります。
2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は410億53百万円となり、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べ17百万円減少しました。

このうち、流動資産は98億18百万円となり、15億1百万円減少しました。この主な要因は、営業収益の減少に伴う営業未収入金の減少2億85百万円、羽田京浜物流センターの建築代金の支払い等による現金及び預金の減少9億27百万円及び償還による有価証券の減少4億99百万円であります。また、固定資産は312億2百万円となり、14億97百万円増加しました。この主な要因は、羽田京浜物流センターの竣工に伴う有形固定資産の増加15億17百万円によるものであります。

当第3四半期末の負債合計は222億70百万円となり、前期末に比べ3億48百万円増加しました。

このうち、流動負債は121億78百万円となり、3億35百万円減少しました。この主な要因は、納税による未払法人税等の減少5億62百万円によるものであります。また、固定負債は100億91百万円となり、6億84百万円増加しました。この主な要因は、長期借入金の増加6億70百万円によるものであります。

純資産合計は187億82百万円となり、前期末に比べ3億66百万円減少しました。この主な要因は、当四半期純損失を1億38百万円計上したこと及び株主配当による利益剰余金の減少2億2百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の46.1%から45.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月23日に公表いたしました平成25年3月期通期の業績予想につきましては、本日（平成25年1月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り修正しておりますのでご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,340	2,412
受取手形及び営業未収入金	6,689	6,480
有価証券	530	30
原材料及び貯蔵品	43	44
その他	727	856
貸倒引当金	△10	△6
流動資産合計	11,320	9,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,044	7,520
土地	18,329	18,335
その他（純額）	2,349	2,385
有形固定資産合計	26,723	28,241
無形固定資産	168	192
投資その他の資産		
投資有価証券	2,097	2,071
その他	834	787
貸倒引当金	△119	△90
投資その他の資産合計	2,813	2,768
固定資産合計	29,705	31,202
繰延資産	45	31
資産合計	41,071	41,053
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,289	4,313
短期借入金	4,814	5,057
未払法人税等	609	47
賞与引当金	582	281
災害損失引当金	0	—
その他	2,217	2,478
流動負債合計	12,514	12,178
固定負債		
長期借入金	4,002	4,672
再評価に係る繰延税金負債	2,393	2,390
退職給付引当金	2,130	2,212
役員退職慰労引当金	59	55
その他	821	761
固定負債合計	9,407	10,091
負債合計	21,921	22,270

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	3,077	3,077
利益剰余金	9,674	9,339
自己株式	△20	△20
株主資本合計	16,291	15,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	420	404
土地再評価差額金	2,228	2,223
その他の包括利益累計額合計	2,649	2,627
少数株主持分	208	198
純資産合計	19,149	18,782
負債純資産合計	41,071	41,053

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収益	36,568	36,171
営業原価	34,222	34,379
営業総利益	2,346	1,791
販売費及び一般管理費	1,682	1,745
営業利益	663	46
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	48	48
助成金収入	39	27
その他	61	54
営業外収益合計	151	129
営業外費用		
支払利息	81	62
その他	14	35
営業外費用合計	95	97
経常利益	719	78
特別利益		
固定資産売却益	442	46
収用補償金	53	—
退職給付制度改定益	22	—
資産除去債務戻入益	—	12
その他	1	—
特別利益合計	519	58
特別損失		
固定資産除売却損	33	51
貸倒引当金繰入額	1	—
投資有価証券評価損	54	—
投資有価証券売却損	—	2
ゴルフ会員権評価損	8	—
ゴルフ会員権売却損	6	—
減損損失	5	11
災害による損失	23	—
その他	—	15
特別損失合計	133	80
税金等調整前四半期純利益	1,105	56
法人税、住民税及び事業税	403	132
法人税等調整額	233	72
法人税等合計	636	204
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	468	△148
少数株主損失(△)	△66	△10
四半期純利益又は四半期純損失(△)	535	△138

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	468	△148
その他の包括利益		
土地再評価差額金	339	—
その他有価証券評価差額金	△192	△16
繰延ヘッジ損益	2	—
その他の包括利益合計	150	△16
四半期包括利益	618	△164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	685	△154
少数株主に係る四半期包括利益	△66	△10

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。